

受験生の夏休みの過ごし方
偏差値を大幅に上げ希望校合格を確実にするには

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

(1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

<栃木県国際交流協会・外国人留学生就職支援センターに参加して>

(2) 今月の3日(土曜日)に、宇都宮市の県庁舎のそばにある栃木国際交流センターで「外国人留学生就職応援セミナー」が開かれました。開倫塾は株式会社ですので、私も経営者の一人としてセミナーに参加させていただきました。

そこで驚いたのは、留学生の皆さんがとても優秀だということです。母国語のほかに英語も堪能で、大学での勉強や日本語の勉強も実によくしています。多才な方が多く、日本での就職を真剣に考えていました。外国人留学生の気概を再認識させられた思いです。

セミナーでは、既に栃木県内で働いている留学生の先輩の方二人が前に出て、「就職のときの心構え」についての話をしました。その中で、自分で気づいたことは、相手に言われなくてもきちんとやろう・大きな声であいさつをしよう・約束の時間の5分前には、その場所に到着するようにしようなどの基本的なことを、後輩の皆さんに教えていました。つまり、どのようにしたら日本での就職活動や仕事がうまくいくのかについての情報交換をしていました。

私は、留学生の皆さんの気迫・熱心さに感銘を受けましたので、これからは開倫塾にも外国人留学生の方に職員として来ていただき、子どもたちを教えることに大活躍していただければ有難いというお話をさせていただきました。加えて、栃木県内の各企業は、留学生の方々の実力を正しく評価し、できるだけ多く採用していただけると有難いと思いました。セミナーではこのようなことを感じ、また、大変勉強になりました。

2. 受験生の夏休みの過ごし方 偏差値を大幅に上げ自分の行きたい学校に確実に合格するには

(1)ところで、もうすぐ夏休みに入ります。そこで今日は、受験生の夏休みの過ごし方として、どのようにしたら偏差値を大幅に上げて自分の行きたい学校に確実に合格することができるかについてお話をさせていただきます。テーマは、「この夏休みに成績、つまり偏差値を大幅に上げるにはどうしたらよいか」です。

(2)私の答えは、すべての受験の受験とは、「受験生としての自覚を持ち、眠る時間と生活に必要な時間以外は机に向かい続けることが基本中の基本」というものです。今までと同じような気持ちで、同じような生活の仕方・勉強の仕方をしていたのでは、成績も今までとあまりかわりません。受験生の多くはこの夏から一斉に勉強を始めますので、かわらなければよいほうで、かえって下がってしまうことも多々あります。

(3)受験には、高校受験、中高一貫の公立学校受験、非常に勉強が盛んな私立中学校受験、4年制大学受験、短期大学受験、専門学校の受験、就職試験の受験、大学院受験など実にたくさんのも
があり、人生にとっては避けて通れません。

(4)これらの受験に対処するには、3つのポイントがあります。1つは、「受験生としての自覚を持つ」ことで、これが最も大事です。2つめは、成績が上がらないのであれば、「勉強の仕方をガラッと変える」ことです。3つめは、「勉強時間を大幅に増やす」ことです。

まず、「受験生としての自覚を持つ」ためにはどうしたらよいかについてお話します。

(ア)自覚を持って勉強するのと自覚を持たないで勉強するのとは、行くと帰るほどの違いがあります。ですから、「自分は今日から受験生である」と何回も何回も自身に言い聞かせて、自覚を持つことが大切です。

(イ)それが難しい人は、ノートや机の前の空いているところに「自分は受験生。受験生としての自覚を持つ」と書いて、一日に何回も声に出して読むことをお勧めします。

(ウ)また、受験勉強は最終的には自己責任・自助努力です。つまり、自分の力でやり抜き、自分の未来は自分の力で切り開くものですから、このことも自分自身に言い聞かせることが大事です。それには、「自己責任」「自助努力」「自分の力でやり抜く」「自分の未来は自分の力で切り開く」などのキャッチフレーズのようなものをノートや机の前に書き、毎日声に出して読むとよいでしょう。

(エ)それから、自分の行きたい学校(私は、これを自分にとっての一流校と呼んでいます)を明確にしてノートや机の前に「学校合格」と書き、毎日毎日読むようにすると自覚が高まります。

次に、「勉強の仕方をガラッと変える」にはどうしたらよいかについてお話します。

(ア)教科書やノートに書かれていることがわからないのでは、話になりません。ですから、辞書を数冊、特に国語事典と英語辞典を用意して、わからないことばが出てきたら一語残らず調べるようにしましょう。そして、その意味を教科書やノート、ポストイットなどにメモしておくことが大事です。わからないことばがあったのでは気持ちが悪い・どのような意味なのかを調べなければ気が済まないくらいにまでなれるとよいですね。

(イ)加えて、音読練習、書き取り練習、計算・問題練習などの練習を繰り返すことも大事です。最後に、「勉強時間を大幅に増やす」にはどうしたらよいかについてお話します。

(ア)受験生であっても、睡眠時間はきちんととって下さい。1日に8時間ぐらいは寝るようにしましょう。

(イ)また、食事の時間も一回につき30分は必要だと思います。これに、トイレに行く時間、お風呂に入る時間を加えると、最低でも1日に4～6時間は生活のための時間が必要です。

(ウ)睡眠時間8時間と生活のための時間4～6時間を合わせると、12～14時間になります。1日24時間から14時間を引くと10時間ですので、受験生は最低でも10時間は机に向かっていただきたいと思います。

3. おわりに

以上お話ししてきた3つを毎日きちんとやり続ければ、受験生の皆さん一人ひとりの目標は必ず達成できます。ですから、この夏休みはひたすら勉強に励んで成績・偏差値の大幅アップを図り、自分の行きたい学校に合格できるようにしましょう。「自分の未来は自分で切り開く」、この実践をお願いしたいと思います。

2011年3月2日校正